Information Card と Windows CardSpace のご紹介

マイクロソフト株式会社田辺 茂也

http://blogs.technet.com/stanabe/

パスワードの次の一手

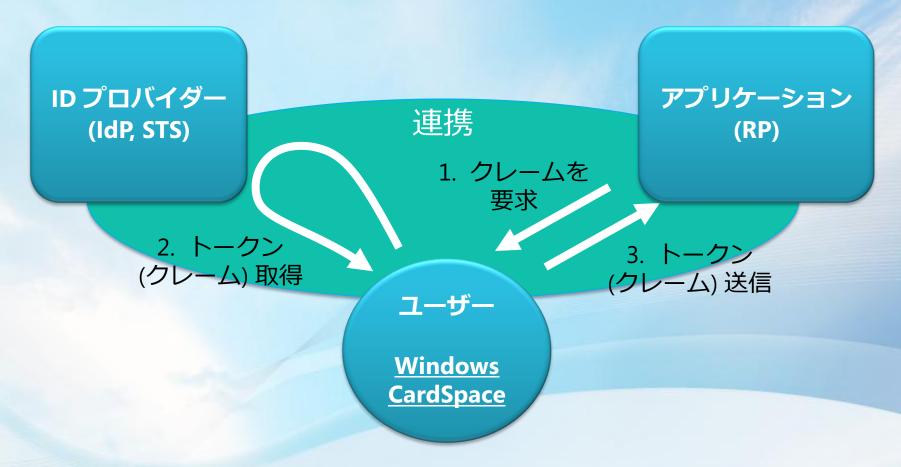
- Information Card
 - 個人の Identity 情報を「カード」 として表現し、 ネットワーク上で使えるように したもの



- Windows CardSpace
 - Information Card セレクタの マイクロソフトによる実装



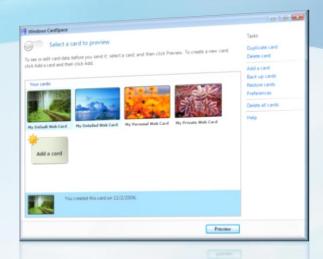
認証の流れ



- ❷ アプリケーション: ユーザーを特定するためにクレームを利用
- ID プロバイダー: クレームを含むトークンを発行
- 連携: 信頼関係のもと、クレームが渡される

Windows CardSpace = Identity セレクター

- カードの利用、クレーム (ユーザの属性情報) の 提供をユーザがコントロール
- ユーザ名・パスワードの使用を低減
- フィッシングからの防御
- 必要システム
 - .NET Framework 3.0 以降 (現行の Windows CardSpace)



カードの種類

個人用カード



個人用カード

- ⊕ 自己署名型のカード
- ⊕ ローカルに保存
- ユーザー名・パスワードに 対する、 より安全な代替手段

マネージカード



- Identity Provider により発行
- 回ーカルにデータは保存せず、
 Identity Provider から取得
- ⊕ STS が必要

Windows CardSpace "Geneva"

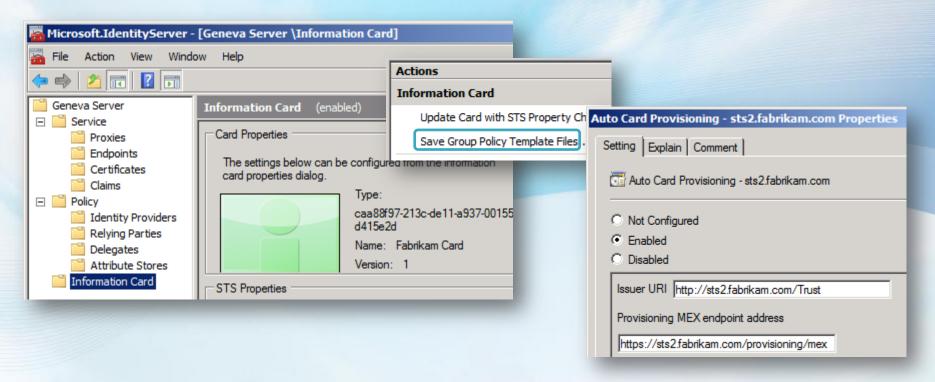
[Windows CardSpace]

- Windows CardSpace の次期バージョン
- Beta 2 公開中 (http://www.microsoft.com/geneva/)
 - 年内に完成予定 (Forefront ブランド)
 - → 7/14 正式名称発表 ([] 内が正式名称)
- 特徴

 - エンタープライズシナリオにも対応
- "Geneva" framework [Windows Identity Foundation]
 - クレーム対応のプログラミングフレームワーク
- "Geneva" server [Active Directory Federation Services]
 - Active Directory フェデレーションサービスの後継
 - Information Card の STS
 - WS-Trust, WS-Federation
 - SAML 2.0 protocol (範囲未定)

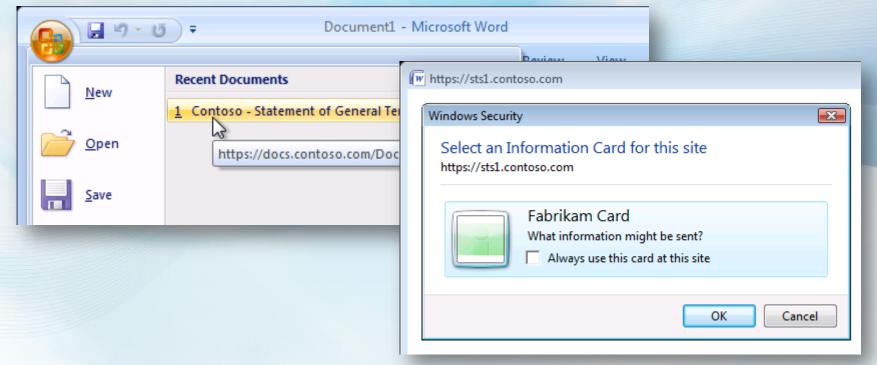
エンタープライズへの適用

- グループポリシーによる、Information Card の自動プロビジョニング
- ⇒ 特定のサイトへのアクセスに自動的に使用



業務アプリケーションでの利用

Web (ブラウザ) や Web サービス (クライア ントアプリケーション) で、 簡単な操作・確実な認証



事例: InfoCard プロジェクト



AAA Discount Reminders



ChoixVert Information Card



The Equifax Over 18 I-Card



The Minuteman Library Network Information Card



Student Advantage RemindMe



The U.S. General Services Administration (GSA) I-Card



WebCard Loyalty from fun communications

事例: ユーザーの確認



- U.S. GeneralServicesAdministration
 - ⊖ 検証中
 - 簡単にアクセス
 - 本人確認
 - アクセスレベル
 - フィッシングの
 防止

事例: 最新情報を含めた認証

- Minuteman Library Network
 - ⊕ 最新入庫情報
 - Azigo.com (Higgins) のセレクタ利用
 - 図書館用の情報+書籍情報



事例: Lake Washington 学区

⊕ ワシントン州で6番目に大きい学区 50校に24,000人以上の生徒

● 生徒を "Future ready" にするビジョンと、 グローバルな職場への準備

⊕ ネットブックでいつでも どこからでも リソースにアクセス できる環境の整備を計画



事例: Lake Washington 学区 ユーザーとアプリケーション

- ⊕ さまざまなカテゴリーのユーザー
 - 教職員 (スタッフ)
 - 生徒、保護者 (顧客)
 - Active Directory のアカウントあり
- さまざまな別個のアプリケーションが 数多くのベンダーから提供中 (主にクラウドベース)
 - Eラーニング
 - 教材
 - 校務

事例: Lake Washington 学区アプリケーションの展開

- - ② 認可: クラウドベースのアプリケーションは ロールの判断のために内部システムにアクセスする必 生がある
 - ・ 管理コスト (ID ライフサイクルなど)
 - すべてを限られた IT スタッフでカバー
- ソリューションには "In-Person-Proofing" と、クレームベースのアクセスを含む

事例: Lake Washington 学区 In Person Proofing イベント

- 実社会の信頼関係を、オンライントランザクションの信頼性に延長
- IPP イベントにてオンライン ID を作成
 - 生徒と保護者が、学校に出向いて 担当の職員に書類を提出
 - ⊕ 職員は本人確認、書類確認を行う
 - 確認後マネージドのデジタル ID を発行
 - ID は Information Card のマネージカードで 生徒のコンピューターにインストールされる

事例: Lake Washington 学区 Intand's School Calendar アプリケーション

● Intand 社によるアプリケーション 学区にサービスとして提供

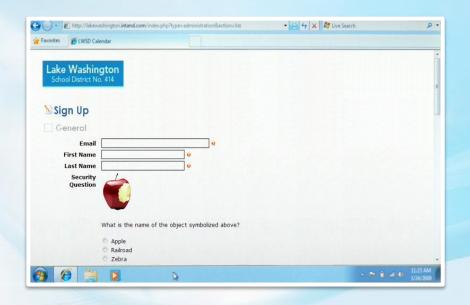
アプリケーションは、ユーザーのロールに応じてカスタマズされる

- コンテンツのカスタマイズ
- イベント作成の可・不可

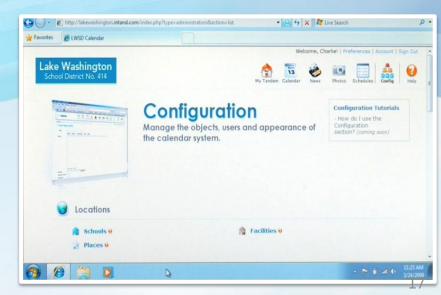


事例: Lake Washington 学区 以前のバージョン

● ユーザー登録



学校の職員が手作業でユーザー毎のパーミッションを設定

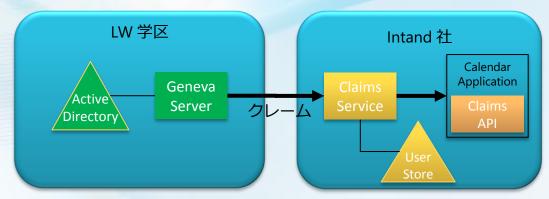


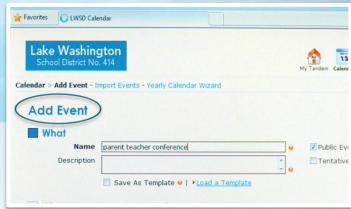
事例: Lake Washington 学区

- クレームベースのバージョン
- ⊕ シングルサインオン
 - Information Card での サインオンをサポート



- ロール(クレーム)ベースのアクセス制御
 - 生徒、教師、職員、保護者に 応じたコンテンツ
 - 個人情報全部ではなく 認可に必要な属性だけを やり取りすればよい





まとめ

- Information Card は簡単でセキュアな 認証手段です
- Windows CardSpace により、 ユーザーの操作性も向上します
- Windows CardSpace "Geneva" によりより多くの実用的なシナリオに対応
- → ぜひ検証をお願いします!

参考情報

参考資料 (1)

- ⊕ 情報サイト
 - ユーザー向けサイト (英語)
 http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/cardspace/default.mspx
 - 開発者向けサイト (英語)
 http://msdn.microsoft.com/CardSpace

 - Windows CardSpace の紹介
 http://www.microsoft.com/japan/msdn/net/general/IntroInfoCard.aspx
- - The Laws of Identity (英語)
 http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms996456.aspx
 - Microsoft's Vision for an Identity Metasystem (英語)
 http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms996422.aspx
- - 各種 Information Card の発行、利用実験のためのサイト
- Identity Selector Interoperability Profile
 - http://download.microsoft.com/download/1/1/a/11ac6505-e4c0-4e05-987c-6f1d31855cd2/Identity-Selector-Interop-Profile-v1.pdf

参考資料 (2)

● 関連ブログ

- Kim Cameron's Identity Weblogs
 - http://identityblog.com/
 - Windows CardSpace のアーキテクト
 - CardSpace を中心に、アイデンティティに関するさまざまな話題を 取り上げている
- CardSpace: Behind The Code

 - Windows CardSpace の開発チームによる技術情報
- ∀ibro.NET
 - ⊕ http://blogs.msdn.com/vbertocci/
 - "Understanding Windows CardSpace" (Addison Wesley) の著者 Vittorio Bertocci のブログ
 - 開発者向けの、実装方法を中心としたトピック
- Mike Jones: self-issued
 - http://self-issued.info/
 - CardSpace を中心に、アイデンティティの相互運用や業界動向などを幅広く取り上げている

ICF: Information Card Foundation

- http://informationcard.net
- 2008年6月発足
- ⊕ 参加メンバー
 - Board Members
 - Equifax, Google, Microsoft, Novell, Oracle, PayPal
 - Launch members
 - Arcot Systems, Aristotle, A.T.E. Software, BackgroundChecks.com, CORISECIO, FuGen Solutions, Fun Communications, Gemalto, IDology, IPcommerce, ooTao, Parity Communications, Ping Identity, Privo, Wave Systems, WSO2
 - Fraunhofer Institute, Liberty Alliance
 - Daniel Bartholomew, Sid Sidner

各種 Identity セレクター

- ❷ Windows CardSpace を利用するもの

 - Firefox
 - Identity Selector http://www.codeplex.com/IdentitySelector
 - ⊕ カードの一元管理が可能、Windows のみ対応

Identity セレクター

- 独自のセレクターを利用するもの
 - Higgins
 - http://www.eclipse.org/higgins/
 - Firefox, GTK, Cocoa, Eclipse RCP, AIR, iPhone
 - Bandit Project
 - http://cards.bandit-project.org
 - Firefox, SuSE Linux, Mac OSX
 - OpenCardSpace
 - http://code.google.com/p/openinfocard/
 - FireFox の組み込みセレクター
 - Xmldap.org のプロジェクト
 - Infocard Selector For Safari
 - http://www.hccp.org/safari-plug-in.html
 - Mac OSX

Relying Party

- - "Geneva" Framework [Microsoft Identity Foundation]
 - クレームを扱うフレームワーク
- PHP: http://www.codeplex.com/informationcardphp
- Java: http://www.codeplex.com/informationcardjava
- ⊕ C: http://www.codeplex.com/InformationCard
- Python: http://code.google.com/p/py-self-issued-rp/
- Higgins Project
- Bandit Project
- €

Webページへの組み込み例

- Web 開発者が追加する項目
 - ・データベースに、ユーザIDフィールド・テーブルを追加
 - ブラウザチェックのための JavaScript
 - Information card のアイコンと利用条件表記
 - 回グインフォームに、カード対応部分を追加
 - トークン処理のためのコード ("Zermatt" などのフレームワーク)
 - → カード管理のページ

Microsoft®

Your potential. Our passion.™